



技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター春季号<第19号>(平成6年3月15日発行)

◇巻頭言

輝かしい年の発足と技術士の役割

矢野 友厚(九州地方技術士センター副会長・建設部門)

1月号の「科学技術ジャーナル」は、今年は日本にとって輝かしい年であると報じている。その理由は、次の四大ビックイベントによる。主要点を紹介すると

- (1) 純国産の次世代大型ロケットH-IIが2月4日打ち上げられ、宇宙開発は大きく前進する。
- (2) 春の話題は、動燃の高速増殖原子炉「もんじゅ」が臨界を迎え、やっと日本でも核燃料リサイクル時代の幕が開く。即ち、2~3億度のプラズマを作つて核融合を起こさせると、融合された重水素と三重水素1グラム当り石油換算で8トン分相当のエネルギーが得られる効率のよさ。原料は海から水素をとるので無尽蔵、また、直ちに停止可能の安全性、炭酸ガスが排出されないので地球環境保護にもなる。なお、実用にはあと50年かかる。石油が枯渇した頃丁度間に合うであろう。これで子孫も安心である。
- (3) 夏の話題は、日本人女性初のスペースシャトルに搭乗し、宇宙旅行をする女も男なみ。
- (4) 海洋開発では、無人深海探査機「かいこう」の1万メートル潜航による調査が3月に予定されている。深海の資源が続々と発見されることを期待したい。

川崎重工の広告標題にあるように、正にアッという間に未来がくる感じである。

以上のように科学技術の上では目覚ましい年の到来となるが、一方、ここ3~4年、九州では長崎県雲仙・普賢岳の200年ぶりの大噴火、活発な活動が続き、たび重なる火碎流や土石流により、初期には43名の死者を含めた人的被害も発生、1千棟を越える家屋の被害、田畠、事業所の物的経済的被害は甚大で、また、商工観光業の間接被害も莫大な額に達している。

一方、猛威を極めた台風17・19号をはじめ、昨年の鹿児島地方を中心とした豪雨災害等、突発的な気象災害により、わが九州は甚大な被害を受けた。

更に眼を海外に転ずれば、米国カリフォルニア州を本年1月17日未明に襲ったマグニチュード6.6の地震でロサンゼルス市内は大被害を受け、特に高速道路の崩壊、発電所や浄水施設、家屋倒壊等の大被害のため、人間社会の文明は一瞬のうちに暗黒の闇に突き落とされた。

また、アジアの盟友タイ国バンコックの交通渋滞のひどさは、車が道路にへばりつく状況で、大気汚染も極端に悪く、雨が多いのに悩みは水不足という。

以上申し述べた輝かしい年の発足に我々技術士はエールを送りながら、技術士として解決可能な生活に結びつく問題を地道に解決して行かなければならない。(以下次ページに続く)

1人でも多くの入会をお勧め下さい

(前ページより続く)

“技術士にふさわしい業務とは”との位置づけの原点は、アカデミックな基礎理論体系と、一方では実用的末端技術・経験工学との間のかけ橋的役割、いわば補完業務、即ち専門的応用能力の駆使にあり、その特色・独創性は、かけ橋遂行時に生まれるものである。

したがって、前述した今年の日本のイベントに対する理解を一般の方にそしゃくして伝えながら、雲仙普賢岳の土石流に対しては人知を尽くし地域の安全の確保や復旧・復興への助言を行うことは可能であろうし、ロス地震に対しては、地震国日本から経験工学的な今後の設計基準への助言も有効と思われる。また、タイ国の交通緩和には、地下鉄、高架式都市高速、モノレール等軟弱地盤を念頭においてのアドバイス、水不足の対応として、地下ダム建設等技術士の活躍舞台は限りなく展開されると思う。以上一例を挙げたに過ぎない。

幸いにして九州では、C Eクラブがあり、新進気鋭のY C E福岡が次代を担って複合技術を集積中で、今後のますますのご活躍を心からお祈り申し上げ、所感と致します。

† 私の提言 「受験しやすい態勢づくり」

竹内 良治 (北九州・水道・衛生工学・建設部門)

平成3年度から、水道、衛生工学、建設の3部門に挑戦し、運よく合格できました。これも、諸先輩のご指導のたまものと深謝いたします。3部門の受験動機は、水道部門の筆記試験が終わった頃から「技術の源は建設にあり」と思うようになり、土木学会、全建に入会するとともに、ゼネコンの広報誌などを読みあさりました。平成4年度に建設環境ができましたが、出題傾向がわからないため、衛生工学を受け、今年度に建設環境となったわけです。建設技術の一端を知ることができ、水処理屋の私にとって、同僚の土木職の方が神様に見えます。

原稿依頼の標題が「私の提言」なのでセンター会員歴わずか一年の若輩が意見を述べるのも汗顏のいたりですが、一番最近の受験者ということで許されたい。

私は少しでも受験者を増やす方策についてふれたい。この試験の受験年齢が35~40歳がピークであり、学位取得や司法試験の20歳後

ノ半と大きく異なる。そして、筆記試験が8月下旬にあることが、受験の最大のネックとなっている。受験者の大半は家庭持ちであり、夏休みの家庭サービスがほぼ不可能になる。事実、子煩惱パパのため受験を諦めている友人もいる。また、業務上ではこの時期は上半期近くでもあり、追い込みで多忙を極めている方も多い。

決められた受験期に受験できない者は技術士の資格はないという考え方もある。しかし、技術士の業務が技術で困っている方の手助けをするのも技術士会の役割と思う。したがって、筆記試験時期を2、3ヶ月ずらす等の方策を提案したい。昭和50年頃のように8月上旬にするだけでも非常に助かる。これにより受験申込者の増加と受験棄権者の減少が期待できる。私のような暇人のみでなく、真の技術者が受験しやすいようにするのも、技術士会活性化の一法であると思う。

日本技術士会近況

原井東男(理事・九州支部長)

◎平成5年度第5回理事会報告

1. 日時 H6年1月19日
2. 場所 (社)日本技術士会 会議室
3. 主な審議事項

(イ) 平成6年度事業計画・収支予算(案)
新規事業計画として提起された件は下記の通り。

- ・リストラクチャリングを推進する中小企業の支援に関連する業務開発。
- ・地域間交流研究会の開催
- ・建設コンサルタント企業内技術士を対象として、関連する資格制度と技術士との比較検討を行う。
- ・特定のテーマに基づくミニ特集を企画、編集する。
- ・海外の専門家派遣を取り扱う公的機関のガイドブックの作成頒布。

(ロ) 講演会、見学会開催補助費運用見直しについて

- ・今迄は複数の共催となっていたが、単独の部会、支部が行う行事も対象とする。
 - ・補助費は講演会等1回毎に要した実費の2分の1とする。
 - ・補助対象は、講師の謝金、会場借料、見学会に要する車両の借料とし、支出は実施状況報告書と実際に支払った証票にもとづいて清算払いとする。
 - ・平成6年度は支部・部会員数で配分する。次年度以降は実績を勘案して決める。
 - ・1回の補助限度額は50,000円以上でも可とし、年2回でなく何回でも良いこととした。但し、予算内で執行するもの。
- (ハ) 技術士補対策について、制度の普及及び補の活用を推進するよう要望が出された。

以上

技術士会九州支部・九州地方技術士センター

□ 支部・センター委員会・部会だより

◎支部、センターの行事日程

(1) 平成5年度会計監査

日時 平成6年4月16日(土)13:00~16:00
場所 博多第一ホテル

(2) 平成5年度第2回役員会

日時 平成6年4月23日(土)13:00~16:00
場所 福岡商工会議所604号

(3) 平成5年度定時総会

日時 平成6年5月28日(土)13:00~19:00
場所 福岡商工会議所605号

◇ 婦・総務委員会(重富委員長)

(1) 第3回常任幹事会

日時 平成6年1月22日(土)13:00~16:00
場所 博多第一ホテル
出席 15名

／ 議題(1)会員増強賛助会員及び
広告のお願い

(2) 2月26日開催予定の研修会
について

(3) 中四国と九州両支部合同研修会
について

(4) 各地区各委員会の状況について
(5) 年度末決算について

(6) その他

(2) 会員実務研修会

日時 平成6年2月26日(土)13:00~16:00
場所 福岡商工会議所605号

講演内容と講師

(1) 機能をなうレアメタル今昔
技術士 霜島一三先生
(次ページにつづく)

(支部・センター委員会・部会だより 続き)

(2)トルコを旅して

技術士 安武敏也先生

(3)中央情勢の問題点と業務開発の

取り組み方

(社)日本技術士会常務理事谷嶋操先生

3)平成5年度技術士合格の実務研修及び
祝賀会

日時 平成6年2月26日(土)13:00~19:00

場所 福岡商工会議所604号

講座内容

(1)ご挨拶とガイダンス的内容

(社)日本技術士会常務理事谷嶋操先生

(2)地域における技術士の役割について

技術士 青山次則先生

(3)生き甲斐を創出する技術士の役割

技術士 斎藤清美先生

◇企・試験委員会(政野委員長)

(1)平成6年度技術士第二次試験受験

申込書配布説明会案内

(1)福岡地区

日時 平成6年3月5日(土)

10:00、13:00より

場所 福岡商工会議所B1号

(2)北九州地区

日時 平成6年3月12日(土)13:30~16:00

場所 北九州市戸畠中央公民館

(3)佐賀地区

日時 平成6年3月19日(土)14:00~16:00

場所 佐賀市駅前第一栄城ホテル

(4)長崎地区

日時 平成6年3月12日(土)13:00~16:00

場所 長崎県勤労福祉会館

(5)熊本地区

日時 平成6年3月12日(土)14:00~16:00

場所 熊本技術センター

(6)大分地区

日時 平成6年3月6日(日)13:00~16:00

場所 大分市コンパルホール

(7)宮崎地区

日時 平成6年3月12日(土)13:00~15:00

場所 宮崎県地質調査業協同組合

(8)鹿児島地区

日時 平成6年3月5日(土)13:00~17:00

場所 鹿児島市建設会館1F会議室

／ 申込書は3月より配布、各県地区代表幹事
又は九州支部事務局より受け取り下さい。

◇センター・受験対策委員会

(久保田委員長)

平成6年技術士になる為の講習会(有料)

☆ 第1回講習会

日時 平成6年4月16日(土)9:00~17:00

場所 福岡商工会議所(604、605号室)

☆ 第2回講習会

第1日目

日時 平成6年6月11日(土)9:00~17:00

第2日目

日時 平成6年6月12日(日)9:00~17:00

場所 福岡商工会議所(604、605号室)

☆ 第3回講習会

日時 平成6年7月23日(土)9:00~17:00

場所 福岡商工会議所(604、605号室)

◇センター・活性化委員会

(斎藤委員長)

第2回活性化委員会

日時 平成6年1月28日(金)

場所 佐賀市はがくれ荘

出席 9名

議題 1)技術士抄録の配布について

2)年代間地域間における

技術士の活性化について

3)佐賀県の活性化について

□ 部会だより

◎第2部会技術研修講習会

日時 平成6年3月5日(土)15:00~18:00

場所 福岡商工会議所B1号

(1)演題「日本経済の現状」について

講師 九州大学経済学部教授

浜砂敬郎先生

(2)演題「新地球時代に向けた

九州ハブ空港立地計画」について

講師 熊本技術センター理事長

技術士 青山次則先生

✿ 声の広場 地区活性化だより-14-北九州 黄金のN分布

北原 徳雄（北九州・代表幹事・化学）

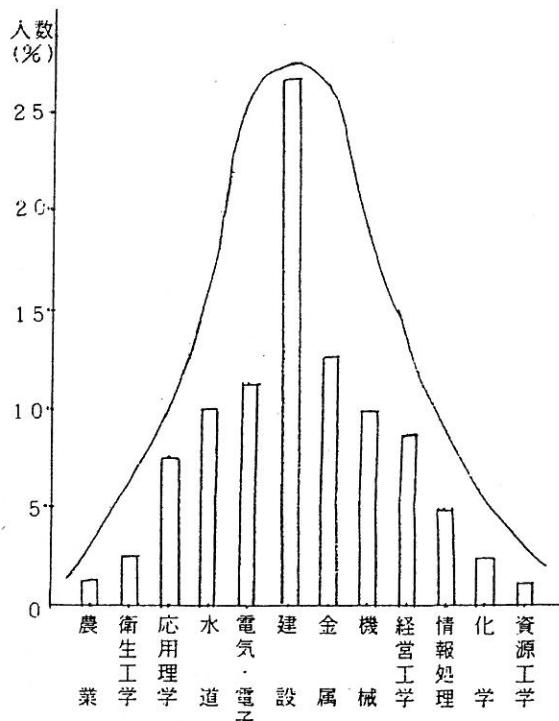
鉄鋼産業や自動車産業に代表される北九州工場地帯の企業群は不況の波を受け、景気は沈滞気味となっている。一方、産業高度化のための研究施設「北九州テクノセンター」の発足や、JR小倉駅周辺の再開発、門司港レトロ事業等北九州市市ルネッサンス計画の着実な推進といった明るい話題も多い。

北九州地区は初代代表幹事土居氏で昭和52年発足し、小倉ステーションビルを例会会場に集い、北九州の地に技術士会の灯をともした。その後歴代の代表幹事の忍耐と努力により北九州の火は輝き、昨年度の合同セミナーが児玉代表幹事の情熱により盛況を呈した事から生氣溢るる地区へと変貌した。

昨年度より代表幹事を菲才の私が引き継ぎ、会員諸氏のご協力で先人の偉業を守っていきたいと努力しています。北九州地区には会員約80人が登録されていて、部門別では12部門より成る。各部門別人数の分布は右図の様にきれいな正規(N)分布曲線が得られた。この曲線は北九州の工業事情の縮図の様にも思われこれを仮に黄金のN分布と名付けた。

当地区のこの部門別会員相互の優秀な頭脳・技術を出し合って、各人の専門分野はもとより学際・業界分野の研鑽に励み、博識をもつ事が技術士としての最大の歓びであろう。

北九州地区 部門別 “黄金のN分布”



この様な事から例会に技術講演を設け、熟年者はもとより次世代を担う若き技術士の活性化を図り、明るい地区的建設を目指している。なお平成5年度からの技術講演とそのテーマを下表に示して北九州地区活動の紹介を終ります。

以上

例会・年月	部 門	講演者	テ 一 マ
5年 6月	化 学	北 原	新材料技術の紹介
7月	金 属 経営工学	高 橋 小 松	韓国の工業事情 管理技術
9月	金 属 機 械	霜 鳥 纈 纈	レアーメタルの今昔 溶接技術
10月	情報工学 応用理学	野 村 江 畑	日産自動車の製造工程 最近の分析機器とその性能
12月	建 設	入 江	管理革命
6年 2月	電気・電子 機 械	泉 館 纈 纈	F Aについて 実務報告；北九州市商工会議所技術相談

第2部会会員アンケート集計結果について

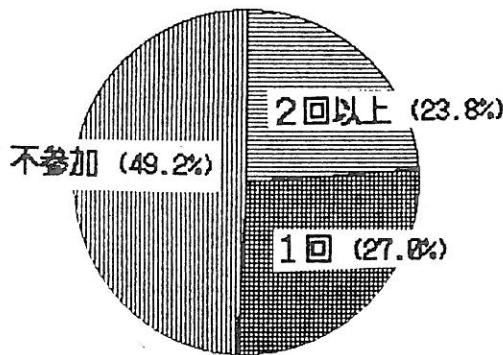
第2部会長 川崎 迪一

今年度実施しました第2回のアンケートについては、前回、部会発足当時実施した平成2年度に比べ、会員数の増加に伴い発信数が増加した関係からか、回答率こそ48.8%と前回の54.1%を若干下回りましたが、回答数は62名と前回の53名を上回り、皆様方の貴重なご意見を集約する事ができました。ここに報告します。

地区名	福岡	大分	長崎	宮崎	鹿児島	北九州	熊本	佐賀	不明	合計
発送数	59	16	11	9	9	9	11	3	-	127
回答数	30	10	6	4	4	3	3	1	1	62
記名	14 16	6 4	5 1	2 2	2 2	3 0	1 2	0 1	0 1	33 29
回答率 (%)	50.8	62.5	54.4	44.4	44.4	33.3	27.3	33.3	-	48.8

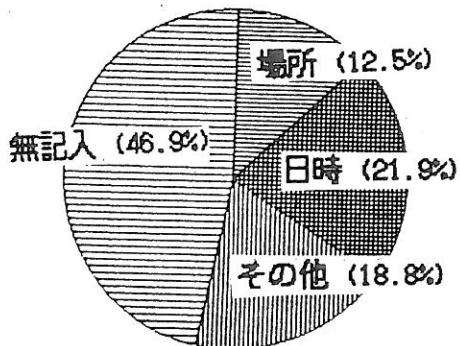
1.これまで部会行事へ参加されたことがありますか。

- イ. 年2回以上参加した。
- ロ. 年1回参加した。



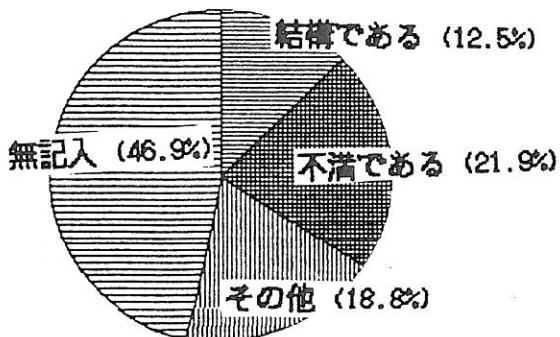
参加しなかった理由

場所、日時、その他



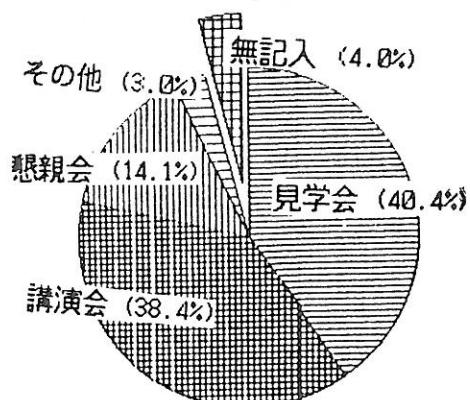
2.これまでの部会のあり方をどのように思われますか。

- イ. 結構である。
- ロ. 不満である。



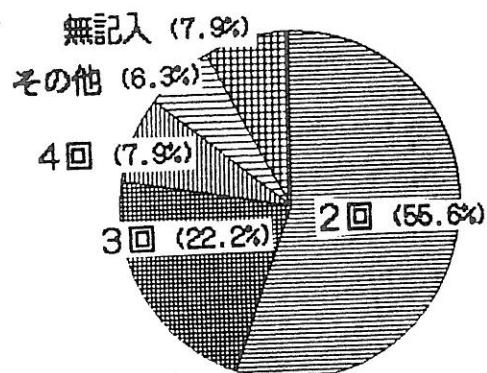
3.どのような部会催し事を希望されますか。

- イ. 見学会
- ロ. 講演会
- ハ. 懇親会
- ニ. その他



4. 上記の催し事には年間何回位を望まれますか。

- イ. 2回
- ロ. 3回
- ハ. 4回
- ニ. その他

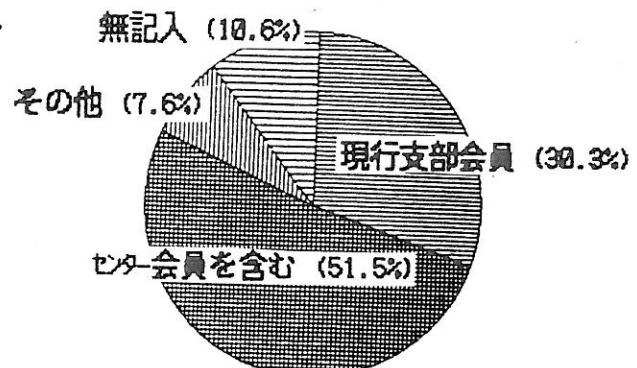


平均的希望回数を知るために、2,3,4回の回答者54名について加重平均を求めた。

その結果は2.4回であり、前回アンケートの2.6回と考え併せると平均的希望回数は2.5回前後である。“出席”希望回数を示す者が多かったのであろうか？

3. 構成会員についてお考えを聞かせて下さい。

- イ. 現行どおり支部会員のみでよい。
- ロ. 支部会員以外のセンター会員も加える方がよい。
- ハ. その他



4. 上記以外のご意見・ご要望等を（何でも結構です）。

集計者の責任で地区毎に記名、無記名に関わらず主なご意見、ご提案を採択し以下に抄録しました。

福岡：① 会を盛り上げるには長期連続の支部活動が必要。② 根気よく年中行事として実行。③ センター会員の加入を是非、会員増強で活性化を。・会員の自主的な発表の場を。・著名人の講演を。・他団体との共催で本会のPRに寄与。④ Y.C.E.福岡が年6回の会合を、場所も特定して行い、技術発表、意見交換等をしているが、この例に倣い部会も3ヶ月一度位で、時間の取れる人の会合を特定場所（会員の事務所提供を得て）で行つては如何。会員同士の親睦が重要。⑤ センター会員も加え対象を増やした方がよい。見学会は年1回程度でよい。⑥ 学会との共催での講演会など。⑦ 見学、研修会の日時が土、日であれば参加しやすい。（施設の見学は無理かもしれません）⑧ 会員が懇談できるような機会が欲しい。

大分：① センター会員を加えて行う。・他支部、部外団体との共催は交流、情報交換の一助となる。又、共催する事で本部補助の対象となる。② 部会催し事は各多種多様性があつた方が良い。参加できる時間と目的が合えば参加すれば良い。何時が全員が良いとは考えられず参加可能者を考えておけば良い。③ 開催地が遠方でつい不参加の事が多い。各地区を廻り準会員を入れて懇親会も含めて。

長崎：① 見学会や講演会は非会員（但し会員の紹介者）にも門戸を広げ、参加費を少し高く。参加者を増やせば技術士会のPRにもなる。

宮崎：① 仕事柄、年度末の2ヶ月間は避けて。

鹿児島：① 地方からは半日程度のものに参加しにくい。

北九州：① 行事が決まったらもう少し早くご連絡を。② 建設部門技術士（専業、企業内）の発表の場として活用しては。

熊本：① 長期計画をたて、年間予定を知らせておいて頂ければ、参加予定ができるので、参加者も増えるのではないか。② 講演会には一般からの出席も。

以上



◇ 会員研修会・忘年会

小松 栄一（北九州・経営工学）

平成5年12月4日、福岡市パークホテルにおいて、年末恒例の研修会と懇親忘年会が、75名の参加により盛大に開催された。

1. 研修会（13:30～17:00）

定刻、笠木事業委員長の司会進行によって水上副支部長の開会のことば、原井支部長のあいさつがあり、引き続いて次のように2つの講演があった。以下にその概要を報告します。

(1)地下ダムについて

講師 昭和地下(株)専務取締役

古川 博恭 先生

地下ダムは利水のための施設であって、講師がS.48年7月に初めて提案してから20年が経過した。地表のダムは27万箇所あるが地下ダムの実績は6箇所の完成に過ぎない。主として最初に手掛けた（S.52～53年度）沖縄県宮古島の皆福地下ダムについて、資料・OHP等によって、現地調査・地形・地質・工法（ステージグラウチング工法）・貯留量の判定評価等詳細に説明された。

現在、宮古島ではさらに大型の2つの地下ダム（砂川、福里）を施工中であり、この近くでは宇美町に天ヶ熊地下ダムがS.62年に完成している。地下ダムは、県・市町村で補助的水源として使用することが望ましいと云われる。

さらに、現状での地下ダムの問題点として次の様に挙げられた。

① 地方の物性にあった工法をどう判断するか。

② 石灰岩は化学的に溶ける。

－沖縄、玉泉洞等の例

③ 貯留量の評価（宮古島0.10, 沖縄0.08）

－より精度の高い、信頼性の高いもの

④ 取水口－群井方式がよいかどうか

皆福地下ダム（256本600φ60～70mの深井戸、現在2～3割から取水）

⑤ 環境問題－水質汚染

50%は農薬による。地下ダムは実績がないが、皆福ではTotal N₂が1～2 ppmから現在は7～8 ppmになっている。

このあと熱心な質疑応答があった。

（2）緑化技術の開発について

講師 技術士会本部理事

鈴木 清 先生

5年前にも研修会で話しました。農林省15年、中近東（国際技術協力）へ20数年行っていたので”砂漠屋”といわれる。砂漠の中で豪雨による洪水で車ごと流され溺死することもある。かなり雨量があるので地下ダムの開発の提案もある。（清水建設、大林組）

砂丘の研究があるが（鳥取大）、砂丘と砂漠は全く違うのでそのまま役立たない。

砂漠開発には土木、農業、応用理学の技術屋を中心になるが、化学（例えば高分子ポリマー）や電気（太陽エネルギーによる発電と揚水）の専門家も必要である。さらに、緑化には水を確保するとともに、植林によって家畜の餌になるような木と薪炭用の木材確保のために林業の技術が必要である。従って、今後の砂漠の開発（例えば中国）には、あらゆる部門の方により関心を持って頂きたい。砂漠化の防止は世界的な緊急問題であり、日本に対する（技術的な）要望は年々強まってきている。非産油国の砂漠化防止への協力は人道的な面でも進めてゆきたい。

日本技術士会の動きについて

①技術部門の新設（環境部門）と現部門内の科目の変更

②国際的な技術協力 ODAの予算増大とともに、ソフトの面で質のよい専門家が求められている。（国際協力専門員募集）

③一般競争入札制度への協力の提案

2. 忘年会（17:30～19:30）

支部長の挨拶の後、鹿児島地区代表幹事上野先生の乾杯の音頭で始められた。

平成2年から始まった忘年パーティもすっかり定着した感があり、旧知の方同士の歓談や、始めての方との名刺交換など、いつもの和やかな風景が展開された。今回は特に山崎先生の尺八と、「青い山脈」の替え歌－技術士会の歌？－の合唱などでますます盛り上がった感があった。

定刻になり、古賀事務局長の音頭による一本締めて散会となり、別れを惜しみながらそれぞれ師走の町へ散りました。以上



西田 靖（宮崎・建設）

会員の皆様には益々ご健勝にて、技術士業務にご活躍のことと拝察申し上げます。

特に鹿児島・宮崎地区では豪雨災害の影響で公私とともに昨年一杯振り回された建設部門の先生方も多かったことでしょう、あわせてお見舞い申し上げます。

さて、私が技術士第二次試験に合格してから丸3年が経過いたしました。

合格以来、技術士会の機関誌等を読ませていただく度によく出てくる話題として「技術士ってなんですか？」ということがあります。

私の場合も合格したときに義母が、建設省勤務（事務官ではあったのですが）の叔父に「技術士ちゃ聞いたこつなかばってんそりゃ一級建築士のことじゃなかとね」と言われたという笑えない話がありました。

このような背景について考えてみますに、私も含めて技術屋気質とでも申しましょうか自分の業績をひけらかすことを嫌い自分の世界で達成感に浸っているようなところが日本、

の技術者の特徴の一つとしてあるのではないでしょうか。（要するにPR下手なのです）

また、バブル時代に象徴されるように経済万能の世界であるかのように国民が夢心地となり、資源に乏しい日本の位置づけや戦後復興の最大要因であった“技術立国”という言葉を忘れかけるようでは、「技術士ってこうですよ」と理解してもらうにはあまりにも寂しい世情のように思われます。

宮崎県では技術士の数が少ないこともあるのか、発注先では私たちは非常に丁重に遇していたたいており、評価や技術報酬についてもご配慮いたたいておりますが、技術士以外の技術者の方々との待遇には大きなギャップがあるのを感じる事があります。

私たち技術士の業務を支えている技術者の皆さんとの社会的評価の底上げの先に、技術士の地位向上の真の答えがあるような気がします。

以上



川野 宏平（大分・農業）

が、当時朝鮮の77連隊に入隊しており、玄海灘の波高く連絡船の船酔いに苦しんだと云う話を思い出し、それが全く嘘のようである。

壱岐の島を過ぎて1時間少々で対馬が目前に見えて来た。ここまで来ると釜山も、もう近いなと思いつつ、対馬を眺めていると、長崎県庁に10年程勤務したので懐かしい。事の成り行きではこの島に永住することになったかも知れないのだが、この島に住む人も住めば都なのだよねえ、と独りごとを云っているうちに島は船の後方に小さくなっていた。

釜山港にもうすぐ着くよと思うと韓国は近い。高速船も2時間55分でピタリと釜山港に着いた。博多から新幹線で大阪に行く時間である。飛行機で韓国に飛んでも、こんな素晴らしい旅は味わえないと思う。

人生60年を過ぎて初めて玄海灘を渡った田舎者で、まことに恥ずかしい限りであるが、思うにこんな近距離だから、その昔豊臣秀吉も朝鮮に進攻したくなったり、<つづく>

1. ビートル2世に乗って

博多港と釜山港をDIRECTに結ぶ「高速旅客船ビートル2世」は、約240Kmある玄海灘を2時間55分で海面を滑るように走る。

JR九州と韓国高速海運により運行されているこの高速艇に一度乗ってみたいと思っていたが、幸いにも乗船の機会を得たので喜んで出かけることにした。60才になっても楽しみはあるものですよ。旅の連れは4人のシルバー技術士である。私達を乗せたビートル2世は7月24日の日曜日、午前10時に定刻出港した。晴天で海は広ぎ、絶好の玄海灘の旅である。日頃の行きがけから今日は良い旅が出来るよ、と云いながらM先輩が買い込んで来た缶ビールとピーナツをビニール袋から取出して皆に配る。美味しいと云ってグイと飲む。視界すべて海、海の玄海灘を走ること1時間で壱岐島が左手に見えて来た。鏡のようにとまでは云わないが海は広ぎで、爽やかな気分である。子供の頃亡父から聞いた話だ、

蒙古軍も博多湾に2度も攻めたくなるんだと思ったが、いずれも作戦が成功せずによかったと思っている。また日本民族は单一民族だと云うが、この近距離なら朝鮮半島から日本列島に多くの人々が渡来したこととは間違いない。だから今訪問しようとしている韓国は私達の親戚なのだ。こんなたわいない思いで耽りながら釜山市に上陸した次第。M先輩が横から、普通の連絡船ならもっと時間がかかり高波に揺られることもあるよ、と云う。

2. 特急列車セマウル号に乗って

セマウル号はソウルと釜山を4時間10分で結ぶ特急列車である。今回の目的地大田市までは約2時間20分の旅であったと思う。釜山駅15時発の列車に乗った4人のシルバー技術士は、先に円をウォンに換金したので、車内では大部分の時間を食堂車で過ごすことになった。韓国産ビールに少々のつまみで、変わりゆく車窓の風景を眺めながら……。列車は走る。話には聞いていたが鉄道の軌道幅が日本のそれより広いので、列車の車体もひとまわり大きくずしりとした重量感がある。列車は途中、大邱リンゴで知られている東大邱駅に停車するだけで、大田市まで寒村の谷間を走り続ける。リンゴ畠もぶどう畠も手入れは充分ではないようだ。谷間に点在する集落も決して豊かさを感じさせてくれない。いずこの国も生きることは大変だとボツリと思う。列車が大邱と大田の間を走るとき、沿線の電柱の先端部に点々と風車が着けてあるのを見つけた。あれは何の目的だろうかと4人で考えてみたが結論は出なかった。碍子が着いている電柱に限って風車が着けてあるから、

カササギが巣作りをしやすい電柱に巣作り防止策として、クルクル動く風車を着けたのであろうと結論づけた。それにしても日本では見られない風景である。

間もなく列車は、たそがれの大田駅に着いた。大田大博覧会が開催されているためか、この時間は乗降客でごった返していた。駅前広場でタクシーをやっとの思いで拾って、宿舎であるロッテホテルに向かった。これで今日の私の韓国の旅は終わろうとしている。今日も元気で幸せでしたと感謝しながら……。

旅の目的は第23回日韓技術士会議に出席するためであるが、この会議は予想以上に充実した会議であったことだけ申し上げることにして他は割愛する。

或る韓国技術士の話によれば、韓国の総人口は約4,300万人で、そのうちソウル市に1,100万人が集中し、釜山市に300万人、大田市に110万人と人口の大部分は都市に集中し、農村には老人だけが残っていると云う過疎現象は日本以上に進行している。水田作業も有志が農業機械を提供し、都会に住む若者がボランティアで植付、収穫をするのだと云う。韓国の農業は日本農業以上にきびしいですよと云う。この話を、途中車窓から眺めた農村風景と重ね合わせると、良く理解できるような気がする。

また、同じキムチを韓国で食べると本当に美味しいと思うのに、日本に持ち帰って食べると味が落ちることだけは確かだが、どうしてかよくわからない。韓国で食べるキムチの味は格別であることを申し上げて終わりにしたい。

以上



香港・広州・マカオ見聞録（その3）

矢野 友厚（センター副会長・福岡・建設）

○ 欲しがる日本車

理由は簡単、中国の国産車は故障が多いから安価でもペケだそうである。部品の品質管理システムが不十分であることによる。

吾々の乗った車は日本製の10年前の車で、中国の運転手さんは生命の次に車の保守に毎日気を使っているという。

○ 村→町→市 と戸籍移動不可

中国では、田舎の山村地区で生まれたが、

最後、戸籍の移動不可の大原則に縛られて、町や市に居を移すことができない。

但し、後述の中山（孫文）記念中学の生徒のように、学力が抜群であれば樂々と移動可能である。英才に生まれなければ一生故郷から足抜けできない厳しい現実がある。

一方、単なる旅行は、昔は制限されていたが今はフリーという。

<次ページにつづく>

香 港

・香港の夜景

夕食後、世界三大夜景の一つといわれ、百万ドルと賞される姿を観賞したが、視野一杯に広がる規模には驚かされた。ただ不満といえばネオンのマタタキがないことである。したがって、何か奥行き不足である。

但しこれには理由がある。ネオンのマタタキは、香港のような狭い空港の場所では、航空機の操縦に著しい妨害を与えるので禁止してあるとのこと、誠に已を得ない。

日本では、神戸、横浜、長崎と港町で夜景が絶賛されているが、長崎が自称1千万ドルの夜景と10倍の値段を付けているのは少々図々しいけれども、ネオンのマタタキの差は歴然としている。

・万金油の大金持

世界どこへ行っても大金持はいるが、香港では「万金油」の製造元の胡氏がその筆頭。

当地は妻を4人まで持つてよいそうで、4件の別宅があり、本宅はまたすばらしい中国風の大邸宅で、車庫には、ベンツ、ロールスロイス等世界の名車がぎりぎり。一方、旦那の夜のお勤めの相手は、ワイフ4人がマージャンをして勝ったものが当番になるという。果たしてその夜のお相手の詮索は、夜景と同じく遅くまで灯りがついている家の女人という。それに対して毎日国内にいたら旦那の体はもつまいと要らざる心配をしてみた。

○ 自称万能薬“万金油”

前述登場の「万金油」。香港地区ガイドの添乗員ヨーさんが、車中で実物を披露してくれたが香りはサリチル酸そっくり、まるで陰茎丸(いんじん)タムシ液と同じである。これが万病に効くとはどうにも思えない。一方胡社長は2回も心臓手術を受けたそうで、薬効は本当に万病に効くのだろうか? 心臓悪化の因はワイフの数が多すぎるのでは?

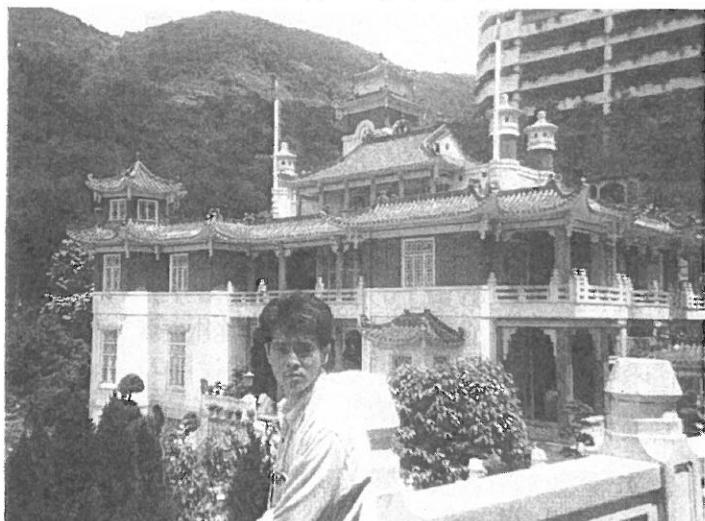
○ 車優先人は後

国が変われば車に対する人の意識が全く違う。中国は12億の人口に対し車は少ない。人間が1億人死んでも10%以下であるが、

香港の夜景



大金持の大邸宅



日本なら全滅に近い。したがって、車による人身事故に対しても運転者は「スミマセン。スミマセン」で刑法の適用等も大したことないという。

よって旅行者は、日本国内の気持ちで気軽に横断歩道を渡ろうものなら大変な事故に遭遇することになる。クワバラ、クワバラ。

○ コールガールと遊んだら後が大変

添乗員の話によれば「観光客がコールガールと遊んだのが見つかるとまずパスポートに助平スタンプが押された上、街中引き廻しの刑が待っている」そうである。そのほか現在は、死神といわれるエイズがあり、品行方正にしくはない。

○ エレベータなしの高層難民アパート

香港には、中国本土の約40倍のくつづく>

ＧＮＰをめざして難民が流れ込み、これ等の人を収容する難民アパートが林立している。

見れば8畳位の部屋に5~10人が住んでおり、トイレ・炊事場は共同で、少しでも部屋を広げるため窓を取り外してある所もある。気温が年中高いので寒さの心配はないが、台風時の雨は容赦なく入り込むらしい。

驚いたことに、相当の高層であるのにエレベータはない。階段を毎日ドンドン昇降するそうで、さぞや足が強かろう。老人になれば1~3階に移る許可が出る。

○香港でも名が売れている金丸信・山口組

ガイドに、「香港では警察が袖の下をとるか」と質問したら“少しばらすると、チップと、

同じく皆取るよ”との答の後「日本の偉い人は一人で沢山取るね……」には口アングリ。

また、「香港には暴力団は？」との質問には「いるね、シンジケート沢山いるよ。日本の山口組も来るよ」と素っ破抜かれてこれまたビックリ。

○ 株式投資

中国には株式はないと思っていたら、テレビ番組で南京、上海付近の上場株の会社案内と株価の放映をしているのにはビックリ。

社会主義経済でありながら自由主義経済を懷に抱え込む腹の太さにアッケにとられた。

<次号につづく>

② 技術士制度の改善について

科学技術庁では技術士法施行規則等の一部を改正し、去る2月25日官報に告示した。平成6年度の試験から実施されるもので、改正のポイントは次のとおり。

(1)環境部門の新設及び既存技術部門への環境関連科目の拡充

①「環境基本法」の成立を始めとする近年の環境保全対策の政策上の重要性の高まり、地方公共団体、企業等における環境関係業務の増大等を受け、技術士試験の19番目の技術部門として、「環境部門」を新設する。②平成3年度の改正において、建設部門及び農業部門に環境関連の選択科目（「建設環境」及び「農村環境」）を設置し、個別部門において環境問題に対応できる人材の育成を図ってきたところであるが、今回、環境に関する広範な知識・技術を有し、既存の技術部門では対応できない横断的、共通的な環境保全に係る諸問題に対応できる人材育成を目的とし既存各技術部門の環境関連科目と併存する形で、「環境部門」を新設することとして、本制度における環境関連の対応について総合的に拡充を図ることとした。

なお、「環境部門」の選択科目は、「環境保全計画」、「環境測定」、「自然環境保全」の3科目構成とする。

③既存の技術部門における環境関連の科目としては、建設部門の「建設環境」、農業部門の「農村環境」に加えて、今回、水道部門に「水道環境」、衛生工学部門に「廃棄物

物管理計画」、水産部門に「水産環境」を設置する。

④今後の技術、ニーズの進展等により環境部門及び各技術部門の環境関連科目のあり方が変化していく可能性が高いので、今後の試験の実績等を踏まえて、必要に応じて見直すこととする。

(2)「情報処理部門」の「情報工学部門」への名称変更

情報処理部門では、従来、「情報システム」「情報数理」及び「電子計算機システム」の3科目を選択科目としてきたが、情報関連技術の急速な進展に対応するため、今回、選択科目として「情報応用」、「情報数理及び知識処理」を設置、変更するなどの改正を行うこととした。これにより、本技術部門の対象範囲が従来の「情報処理」を含むより広範な領域に拡大し、このような内容を表現するものとして「情報工学」が一般に使われていることから、技術部門の名称を「情報工学部門」に変更する。

(3)選択科目及び選択科目の内容の変更

①「電気・電子部門」の選択科目に「情報通信」を新設する。

②「金属部門」の選択科目「鉄冶金」を「鉄鋼生産システム」に、「非鉄冶金」を「非鉄生産システム」に、名称をそれぞれ変更。

③「資源工学部門」の選択科目「金属鉱業」を「金属及び非金属鉱業」に、「石炭及び石油鉱業」を「石炭、石油及び天然ガス鉱業」に名称をそれぞれ変更。 <つづく>

- ④「建設部門」の選択科目「施工計画及び施工設備」を「施工計画、施工設備及び積算」に名称を変更。
 - ⑤「水道部門」の選択科目に「水道環境」を新設。
 - ⑥「衛生工学部門」の選択科目に「廃棄物管理」を新設。
 - ⑦「水産部門」の選択科目「漁業」と「増養殖」を統合し「漁業及び増養殖」とする、選択科目に「水産土木」及び「水産水域環境」を新設。
 - ⑧「経営工学部門」の選択科目「工場管理」を「生産管理」に名称を変更し、

- ✓ 選択科目に「プロジェクト・エンジニアリング」を新設する。
 - ⑨「情報工学部門」の選択科目「情報数理」を「情報数理及び知識処理」に名称を変更し、選択科目に「情報応用」を新設。
 - ⑩「電子応用」等20科目において科目の内容の変更を行う。

以上は「技術士」、94.2月号に掲載の記事の1部であるが、環境部門の新設とその内容等については同誌を参照、または事務局にお問い合わせ下さい。

以上

㊗！技術士第一次試験合格の方々

◎ 平成5年度技術士第一次試験合格者（関係分、敬称略）

平成5年12月21日発表

合計 60名

	平成5年度	前年度
受験申込者数	4,157名	4,060名
受験者数	2,648名	2,624名
合格者数	824名	621名
申込者数に対する合格率	19.8%	15.3%
受験者数に対する合格率	31.1%	23.7%

㊗!!技術士第二次試験合格の方々

◎ 平成5年度技術士第二次試験合格者(関係分、敬称略)

(部門)	(出身地)	(氏名)	(部門)	(出身地)	(氏名)
機械	福岡	是永 逸生	建築	長崎	敏幸
"	"	末松 正典	"	福岡	英雄
電気・電子	"	根岸 圭介	"	鹿児島	徳辰弘之
"	長崎	神田 昭夫	"	福岡	立山弘之
"	福岡	馬場 三郎	"	"	吉永一郎
"	"	徳永 準一	"	佐賀	山手洋二郎
"	宮崎	渕上 健次	"	福岡	森博史
金属	福岡	戸木田 康男	"	"	稻田利治
"	"	皆良田 征夫	"	本岡	高島廣義
資源工学	"	松坂 総一郎	"	熊本	巖武貢司
"	"	斎藤 容二	"	福岡	高司隆一
建設	鹿児島	内田 健二	"	宮崎	中孝裕
"	福岡	金谷 泰邦	"	福岡	上林理和
"	"	長野 孝之	"	宮崎	園南良治
"	"	友光 宏美	"	福岡	里曾治修
"	"	堤 敦次	"	大分	平井和徳
"	"	橋村 彦彦	"	福岡	児玉治作
"	"	松崎 隆均	"	宮崎	宮内修矢
"	"	大久保 均	"	福岡	浦英寿
"	"	久保島 一男	"	福岡	上野登志夫
"	"	川内 貞三	"	福岡	大島静夫
"	"	原道泰	"	福岡	阿部誠
"	"	前田 文雄	"	福岡	北宮和生
"	"	柿辰雄	"	福岡	角田逸郎
"	熊本	入江 雄達	"	福岡	折田秀三
"	鹿児島	藤川 敬人	"	福岡	木村演良
"	福岡	田崎 順二	"	福岡	内誠一
"	"	松隈 実朗	"	福岡	藤井友規
"	"	中俣 敏朗	"	福岡	部秀美
"	"	阿部 雄龍	"	福岡	井智明
"	"	箱嶋 齊樹	"	長崎	八村
"	"	藤村 秀樹	"		
"	"	御代川 亨	"		
"	"	森田 覚之	"		
"	"	後藤 雅之	"		
"	"	井上 博	"		
"	"	横尾 整司	"		
水道					
衛生工学					
農業					
水産					
応用理学					
合計 72名					

	平成5年度	前年度
受験申込者数	18,187名	17,517名
筆記試験受験者数	10,220名	10,047名
筆記試験合格者数	1,770名	1,785名
口頭試験受験者数	1,763名	1,783名

口頭試験合格者数	1,609名	1,643名
受験申込者に対する合格率	8.8%	9.4%
筆記試験受験者に対する合格率	15.7%	16.4%

(福岡試験場の実績) 口頭試験受験者 100名 口頭試験合格者 94名



会員ニュース



☆九州地方技術士センター入会

-以下敬称略-

(地区)	(区分)	(氏名)	(技術部門)	(連絡先)
宮崎	正頸	岡田 豊	建設	〒880 宮崎市大塚町窪田3272 サマンション大塚305
" "	赤崎	正人	水産	〒880 宮崎市下北方町牟夕田1158-3
福岡	"	豊島 正則	経営工学	〒811-22 福岡県粕屋郡志免町大字南里239-1 ショーノ工業株福岡営業所
北九州	"	會田 義彦	水道	〒806 北九州市八幡西区上上津役4-8-1
福岡	"	佐藤 礼治	建設	〒811-41 福岡県宗像市自由ヶ丘南2-16-4
鹿児島	"	永嶋 英起	"	〒874 大分県別府市大字南立石2473-15
福岡	"	岳尾 弘洋	"	〒815 福岡市南区野間4-3-22-304
" "	濱村 俊治	農業	〒816 福岡市博多区三筑2-24-14	
長崎	正頸	福野 幸藏	建設	〒859-32 長崎県佐世保市崎岡町971-2、4棟903号

☆(社)日本技術士会(九州支部)退会

福岡正頸 内藤 堅一 建設

福岡正頸 上原 慶三 水道

☆九州地方技術士センター退会

福岡正頸 上原 慶三 水道

-以上 受付順-

☆会員勤務先(住所)および連絡先変更

- 竹崎 徳男 (応用理学)
勤務先 〒890 鹿児島市原良町269-2
(株)西日本地下工業
- 清杉 瞳雄 (建設)
連絡先 〒882 宮崎県延岡市大貫町
3-710-4 TEL (0982)22-8406
- 柏木 克己 (経営工学)
連絡先 〒830 福岡県久留米市東町
490-3-103 TEL(0942)33-6457
- 木崎 靖宏 (林業)
勤務先 〒815 福岡市南区清水
1-15-18 新日本グラウト工業(株)
TEL (092)511-8981
- 山口 進吾 (建設)
連絡先 〒862 熊本市长嶺町862-10
TEL (096)380-0142

6. 篠島 昇 (建設)

勤務先 東亜コンサルタント(株)
TEL(0975)58-4884 FAX (0975)52-6344

7. 朝日 輝 (建設)

芳川 孝生 (水道)
勤務先 〒880 宮崎市生目台西3-7-3
(株)ダイワコンサルタント
TEL(0985)50-5430 FAX (0985)50-6761

8. 新城 精一 (建設)

連絡先 〒880 宮崎市大塚町八所
3771-2 TEL (0985)53-9384

9. 小溝 宏志 (建設)

連絡先 〒857 長崎県諫早市山川町3-3
(株)ニチボー長崎支店
TEL(0957)43-4788 FAX (0957)43-4498
<次ページにつづく>

10. 田本 真一 (建設)
連絡先 〒734 広島市南区仁保新町
2-3-27 上野ビル205号
TEL (082)281-2470
11. 川瀬 浩之 (応用理学)
連絡先 〒814-01 福岡市早良区賀茂
4-43-12
12. 香月 正直 (建設)
連絡先 〒880 宮崎市恒久6-3-25

◇会誌“技術士”最近号の主要目次

☆1月号

- ・私の技術士業務
私の省エネ体験／藤繩 勝久
- ・研修のページ
新計量法と計量制度の国際化／辻 民雄
- ・ミニ特集・エネルギー技術
ローカル・エネルギー利用のすすめ／太田 紘一
太陽光発電について／研究開発センター
酒造プロセスの熱エネルギー管理／三宅 正志

☆2月号

- ・卷頭言
期待高まる技術士の活躍／保坂 彰夫
- ・私の技術士業務
みくりや食品工場にみる農業維新／前波 清隆
- ・平成5年度技術士第一次試験合格者発表
- ・研修のページ
創造力開発とヒューマニゼーション／三吉 正和

☆3月号

- ・卷頭言
新しい時代を迎えて／倉持 寛子
- ・平成5年度技術士第二次試験合格者発表
- ・私の技術士業務
マニュアルに無いことが分かります／伊藤 雅夫
ベトナム雑感／柴田 力
- ・研修のページ ロシア鉄道の連結器の
技術着想のことなど／斎藤 錦治
- ・ミニ特集・国際協力
中国における技術指導と友誼奨受賞
カルボニア共和国の化学工場／三宅 正志
新しい技術集団をめざして／富田ゆきひ

13. 伊藤 明 (建設)
勤務先 〒889-18 宮崎県北諸県郡山之口町
大字山之口2252-2
前田建設工業(株)天神ダム作業所
TEL (0986)57-4771
14. 黒木 重久 (建設)
勤務先 〒880 宮崎市霧島5-62-1
富士工業(株)会長 TEL (0985)20-1877
15. 濑尾 悟 (農業)
勤務先 〒880 宮崎市新別府町船戸
791-2
日豊測量設計事務所
TEL (0985)24-1572
16. 中山 法規 (農業)
勤務先 〒880 宮崎市恒久1-7-14
宮崎県工業試験場副場長
TEL (0985)51-7211

-受付順、敬称略- <会員ニュースおわり>

★投票権を募る★

技術研究論文・技術士の主張・贊助会
員会社の紹介など、技術的なことは勿論
会員の受賞などのニュースもお願いしま
す。積極的な皆さんの投稿をお待ちして
おります。

(200字詰め原稿用紙2~3枚程度を目安
に、支部事務局宛てご送付下さい。)

編集後記

- ・今年こそ、景気浮揚の年だと期待されてい
るのに、政府・与党のもたつきや野党の反
発などで遅れ気味。しかし、待てば海路の
日和とか、ただ忍耐、忍耐あるのみか！
- ・今年も合格者に入会を勧め、一步一歩技術
士のPRとともに地位の向上を図りたい。
- ・春から縁起がイイ!!とゆきたいが、桜の下
で鯛ならぬタイ米とは？辛抱！辛抱！(小)

発行：(社)日本技術士会・九州支部
九州地方技術士センター
〒810 福岡市中央区大名1丁目
12-61 新天ビル402
☎ (092) 771-9534
編集：九州支部・総務委員会